

ご使用上のご注意

ツインバード工業株式会社は、この資料並びにコンテンツの著作権を有しています。
この資料並びにコンテンツは、著作権等の法律で保護されており、お客様はこの資料並びにコンテンツに関し下記の条件でのみ利用することが出来ます。

1. お客様は非営利目的に限り、ダウンロード、および使用することができます。
2. お客様がダウンロード、使用するときは、この著作権表示および使用条件と一緒に付す必要があります。
3. お客様はこの資料並びにコンテンツを改変したり、頒布、公衆送信、上映等に利用することはできません。

当社および当社の関係会社は、お客様に対してこの資料並びにコンテンツに関する著作権、特許権、商標権、意匠権およびその他の知的財産権をライセンスするものではありません。並びに資料およびコンテンツの内容についてもいかなる保証をするものでもありません。

またこの資料、並びにコンテンツ内に別の定めがある場合は、当該著作権の表示、使用条件を遵守する必要があります。

※このコンテンツはWeb上での使用を前提とし再編集を加えているため、必ずしも製品添付の取扱説明書と同一ではありません。特にページ順は編集上、入れ替えている場合があります。

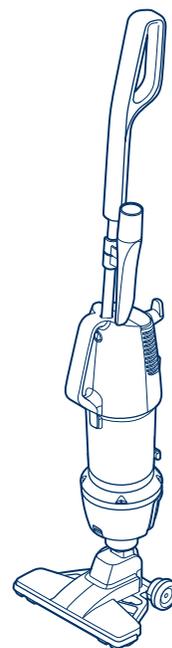
※この資料並びにコンテンツの内容は、それぞれの商品の発売時点のものです。

※デザイン、仕様は商品改良のため予告なく変更する場合があります。

家庭用

サイクロン
スティック型クリーナー

TC-E117 取扱説明書



- このたびは、お買い上げいただきまして、誠にありがとうございました。
- この取扱説明書をよくお読みのうえ、正しくご使用ください。
特に「安全上のご注意」は、ご使用前に必ずお読みいただき、安全にご使用ください。
- この取扱説明書は必ず保管し、必要なときにお読みください。
- この製品は一般家庭用です。
業務用などにご使用にならないでください。

RX1301B

● もくじ

安全上のご注意	1・2
各部の名称	3・4
使いかた	5
ゴミの捨てかた	6
お手入れのしかた	7
こんなときは	
保護装置について	
アフターサービス	8
仕様	

保証書付

保証書はこの取扱説明書の裏表紙についています。
必ず記入をお受けください。

安全上のご注意 必ずお守りください。

製品および取扱説明書には、お使いになるかたや他の人への危害と財産への損害を未然に防ぎ、安全に正しくお使いいただくために、重要な内容を記載しています。次の内容(表示・図記号)をよく理解してから本文をお読みになり、記載事項をお守りください。

●表示の説明

警告 「死亡または重傷を負うことが想定される」内容です。

注意 「傷害を負う、または物的損害が発生することが想定される」内容です。

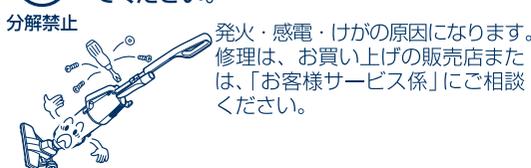
●図記号の説明

禁止符號は、してはいけない「禁止」の内容です。

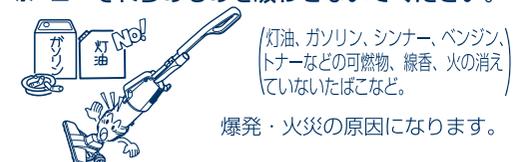
強制符號は、必ず実行していただく「強制」の内容です。

警告

絶対に分解したり修理・改造は行わないでください。



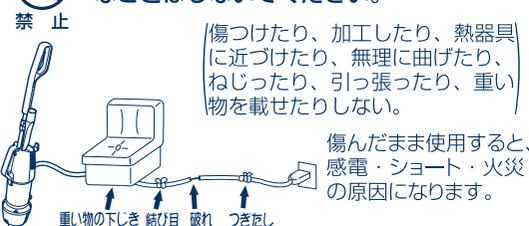
引火性のあるものや、火の気のあるものそばで使用しないでください。また、それらのものを吸わせないでください。



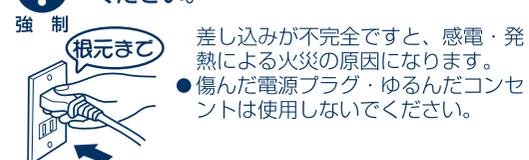
お手入れの際は必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。



電源コード・電源プラグを破損するようなことはしないでください。



電源プラグは根元まで確実に差し込んでください。



水洗いや風呂場での使用はしないでください。



電源プラグはぬれた手で抜き差ししないでください。



定格15A以上・交流100Vのコンセントを単独で使ってください。



電源プラグのほこり等は定期的にとってください。



本体のモーター保護窓や排気口に金属類・ピン・つまようじ・コインを入れないでください。



注意

火気に近づけないでください。



使用時以外は、電源プラグをコンセントから抜いてください。



床用吸込口や排気口をふさいで運転しないでください。



電源プラグは、電源を「切」にして差し込んでください。



電源プラグを抜くときは、必ず電源プラグを持って引き抜いてください。



水や吸込口につまりそうなものや粉、先のとがったものを吸わせないでください。(ガラス・カミソリ・押しピン・針など)



床用吸込口を壁やタンスにぶつけないでください。



炎天下の車内や暖房器具のそばなど、温度が高くなるところで保管しないでください。



ご注意とお願い

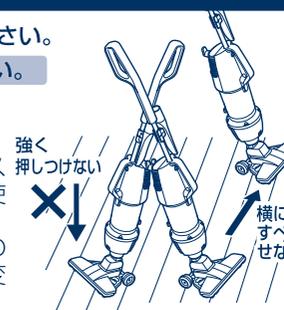
この掃除機は、家庭用です。業務用やお掃除以外の目的には、使用しないでください。

床用吸込口を床に強く押しつけたり、横にすべらせてお掃除をしないでください。

※床用吸込口の移動により床面に光沢の差がでることがあります。

万一光沢の差がでたら…

- 水を含ませてからしぼった布で床面の汚れを拭き取った後、市販の床用ワックスを薄く塗り乾燥させてください。(床用ワックスの取扱い方法をよくよんでお使いください。)
 - 市販の床用ワックスで効果がない場合は自動車用のワックス(コンパウンドの入っていないもの)をお使いください。その際ワックスがけをした床面が大変すべりやすくなりますので余分なワックスは必ず拭き取ってください。
- ※自動車用のワックスは研磨剤(コンパウンド)の入っていないものをお使いください。



お願い

- ダストケース・アウターフィルター・フィルターをはずしたままお掃除をしないでください。故障の原因になります。
- 次のようなものは吸わせないでください。故障の原因になります。
 - 水・油などの液体・湿ったゴミなど
 - ガラス、ピン、針、つまようじ、多量の砂
 - 多量の粉体(消火器の粉など)
 ダストケースの傷つき、各フィルター破れの原因になります。
- 大きなゴミや、「ゴミ捨て」ラインを超えてゴミを吸わせないでください。あめ玉の包みやティッシュペーパーなどの大きなゴミは、取り除いてからお掃除をしてください。ダストケース内のゴミは、「ゴミ捨て」ラインを超える前に捨ててください。吸気路、床用吸込口内やアウターフィルターにつまる原因になります。
- 土間など土足で歩く場所をお掃除しないでください。床用吸込口の傷つきの原因になります。

各部の名称・・・このクリーナーは家庭用です。業務用やお掃除以外の目的には使わないでください。

⚠️ ご注意とお願い

- 禁止** 一度に多量のゴミ、15mm角以上の目立って大きいゴミ、セロハンフィルムなど薄いゴミを吸わせないでください。
 - 細かく砕かれた多量の紙くず
 - 目立って大きいゴミやセロハンなどの薄くて軽いゴミ
- 禁止** 灯油、ガソリン、タバコの吸殻などを吸わせないでください。火災の原因になります。
- 強制** ゴミは早目に捨ててください。衛生面から、お掃除のつごゴミを捨てることをおすすめします。

床用吸込口やゴミの通り道にゴミが詰ったり、はり付いたりして、ゴミを吸込むことができません。一度電源を「切」にして詰まったゴミを取り除いてからお掃除を続けてください。

完成状態

お願い
本体へのゴミやほこりの侵入を防ぐため、必ずアウターフィルター、フィルターを取付けてください。

ゴミ捨てボタン
6ページ

「ゴミ捨て」ライン
ゴミ捨て

フィルター
本体への細かなゴミの侵入を防ぎます。

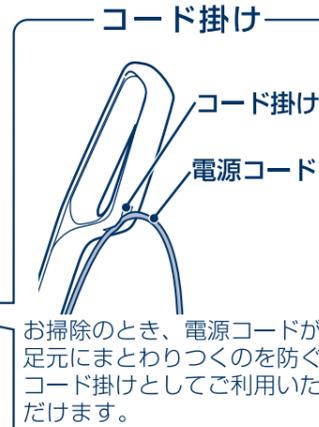
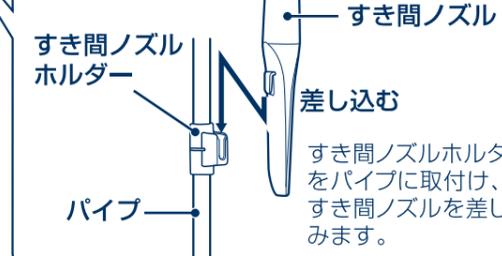
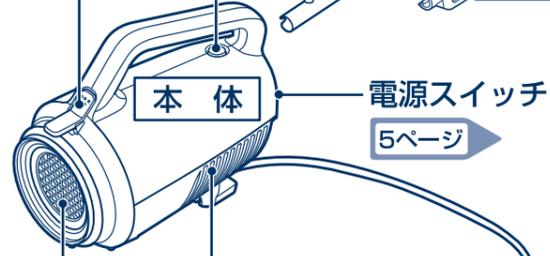
アウターフィルター
本体へのゴミの侵入を防ぎます。

ダストケース
中にゴミがたまります。

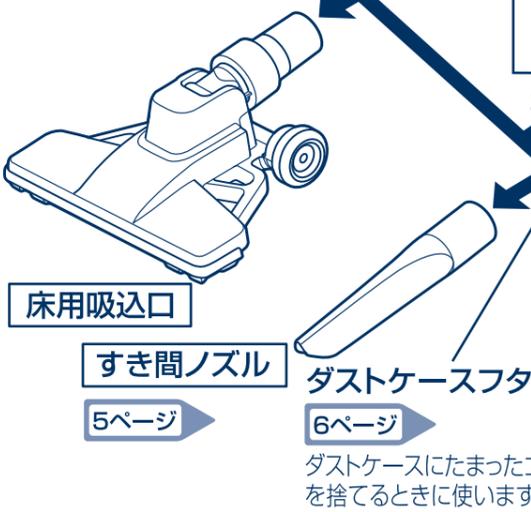
ダストケースボタン

パイプ
パイプ取外しボタン

すき間ノズルホルダー



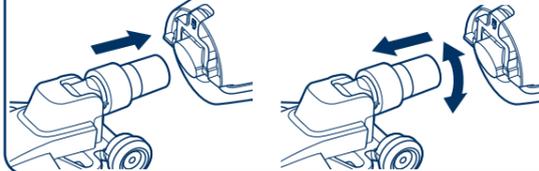
お掃除のとき、電源コードが足元にまわりつくのを防ぐコード掛けとしてご利用いただけます。



床用吸込口の取付けた／はずしかた

取り付けかた
奥までしっかり差し込みます。

はずしかた
左右に小刻みに回しながら引き抜きます。



〈ハンドルとパイプの組み立てかた〉

- ① 合わせる
- ② 差し込む

パイプの凸をハンドルのキリカキに合わせ、パイプの凸を押しながらハンドルへ差し込みます。パイプは両端どちらでも差し込みます。

スティック型クリーナーとして使うとき 本体とパイプの接続のしかた

パイプの凸を本体のキリカキに合わせ、パイプの凸を押しながら本体へ差し込みます。パイプは両端どちらでも差し込みます。

- ① 合わせる
- ② 差し込む

ハンディークリーナーとして使うとき パイプのはずしかた

パイプ取外しボタンを押しながらパイプを引き抜きます。

- ① 押しながら
 - ② 引き抜く
- (注) ハンドルのみ取りはずしてご使用にならないでください。パイプだけががする恐れがあります。

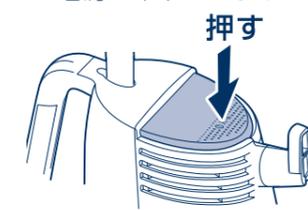
使いかた

- △注意**
- 火気に近づけて使用しないでください。
 - 使用中は、電源コードに足や物を引っかけないでください。
 - 電源プラグは、電源を「切」にしてから差し込んでください。

1. 電源プラグをコンセントに差し込みます。



2. 電源スイッチを押して、電源を入れます。



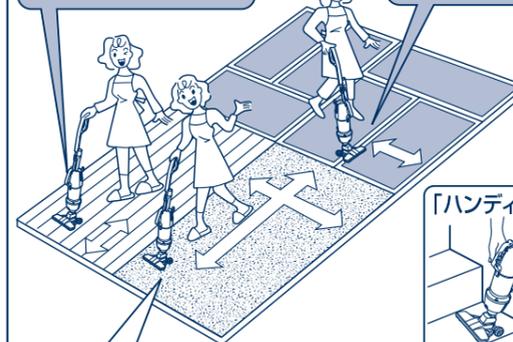
3. 使用後は電源スイッチを押して電源を切り、コンセントから電源プラグを抜きます。



お掃除のしかた

フローリング
床目にそって軽く動かしましょう。

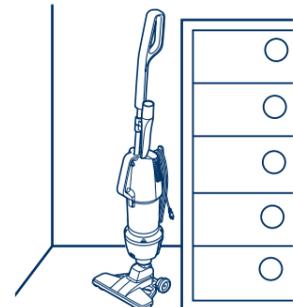
たたみ
たたみの目にそって、ゆっくりと軽く動かしましょう。



じゅうたん
まずは一定方向に往復し次に直角の方向に動かしましょう。

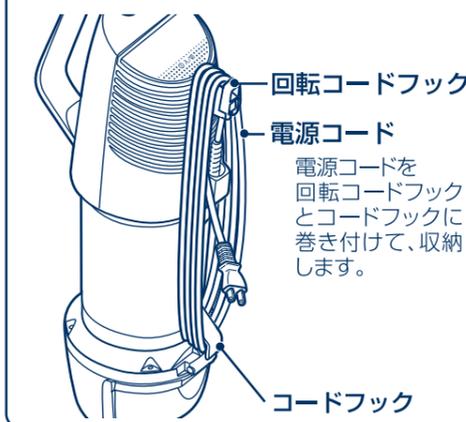
「ハンディークリーナーでのお掃除」
階段、サッシのミソ、家具と家具のすき間等はハンディークリーナーとしてお掃除できます。

保管のしかた



- 必ず電源プラグを抜いて保管してください。
- 本体が倒れないようにたいらな場所に保管してください。

コード収納のしかた



- ①まわす
- ②コードをはずす

電源コードを回転コードフックとコードフックに巻き付けて、収納します。

△注意

回転コードフック 電源コードは回転コードフック側から巻き始めてください。

本体側から巻き始める ダストケース側から巻き始めない

ゴミの捨てかた

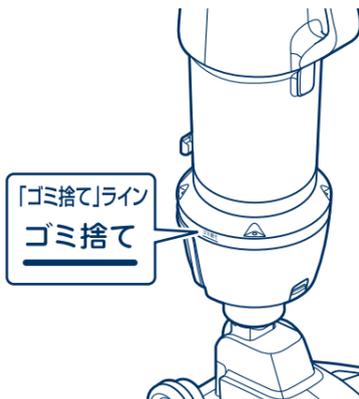
お掃除のつどゴミを捨てることをおすすめします。

△注意

ゴミを捨てる際には必ず電源スイッチを押して、運転を停止させ、電源プラグをコンセントから抜いてください。

○お願い

- 「ゴミ捨て」ラインを越える前にゴミを捨ててください。そのまま使用を続けると、フィルターにゴミが付着し、吸込力の低下やモーター故障の原因になります。
- ゴミの種類により、「ゴミ捨て」ラインまでゴミがたまる前でも各フィルターにゴミが付着し、ゴミ捨てが必要になる場合があります。
- 各フィルターに小さなゴミが付着すると吸込力が弱くなります。このような場合は、フィルターのお手入れをしてください。



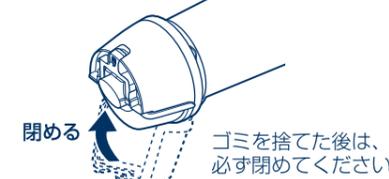
「ゴミ捨て」ライン
ゴミ捨て

大きなゴミを捨てる

1. 床用吸込口をはずします。
回しながら引き抜く
2. ダストケースの「ゴミ捨てボタン」を押してゴミを捨ててください。
ゴミ捨てボタン
① 押す
② 開く
ダストケースフタ



3. ダストケースフタを閉める。



細かいゴミを捨てる

1. ダストケースをはずします。
① 押す
② はずす
ダストケースボタンを押して、ダストケースをはずします。ゴミが散らからないようにゴミ箱等の上ではずしてください。
2. 各フィルターをはずします。
ダストケース アウターフィルター フィルター
つまみを持ってはずす
3. ダストケースに残ったゴミを捨てます。
4. アウターフィルターとフィルターについたゴミを落とします。
ゴミ箱のふちなどで軽くたたいて、ゴミを落としてください。
5. 各フィルターを取付けます。
ダストケース アウターフィルター フィルター
6. 本体にダストケースを取付けます。
本体にダストケースを取付ける際は背面のフック部にダストケースを引っ掛けてから取付けてください。
② 取付ける
フック部
① 引っ掛ける

お手入れのしかた

△注意

お手入れの際には必ず電源スイッチを押して、運転を停止させ、電源プラグをコンセントから抜いてください。(運転直後には、電源プラグの金属部が熱くなることがありますので、金属部分に触れないでください。)

本体・床用吸込口・ハンドル・パイプ・すき間ノズル

- 製品の汚れは、乾いたやわらかい布でふき取ってください。
- 汚れがひどいときは、水でうすめた中性洗剤少量をやわらかい布に浸してよくしぼってふき、そのあと乾いた布でふき取るときれいになります。
- シンナー・ベンジン・スプレー式クリーナー類では絶対にふかないでください。

ダストケース… ゴミで汚れたときなど

- 中にたまったゴミを捨ててから水洗いをしてください。乾いた布でふいたあと、陰干しして十分に乾燥させてから本体に取付けてください。

アウターフィルター・フィルター… 汚れがひどいとき、吸込力が低下したとき

1. 取りはずして、ゴミを落とします。
2. 中性洗剤を少しつけて、表面を軽くなでるように洗ってください。
軽くなでる ②軽くなでる
①布フィルターを引き出す
3. 水で十分にすすいだのち、陰干しして十分に乾燥させてください。
①水ですすぐ ②布フィルターを内側に折り込む ③陰干しする

○お願い

- 必ずゴミを落としてから水洗いしてください。
- 表面を洗淨するとき、強くこすらないでください。
 - 洗濯機で洗わないでください。
 - ヘアードライヤーや乾燥機などの熱風で乾燥させないでください。
 - すすぎや乾燥が不十分なまま、ご使用になると、泡が出たり目づまりやおいの原因になります。

こんなときは…

修理・サービスをお申しつけになる前に下記の点をお調べください。

こんなときは？	調べるところ	処 置
電源スイッチを押しても運転できない。	電源プラグがコンセントにしっかり差し込まれていますか？ 保護装置が働いていませんか？	電源プラグをコンセントにしっかり差し込んでください。 「保護装置について」をご覧ください。→8ページ
吸込力が弱い。	アウターフィルター・フィルターが本体に取付けられていますか？ ダストケース内に、ゴミが多くなっていますか？ 湿ったゴミを吸い込ませていませんか？ フィルターが目づまりをしていませんか？	アウターフィルター・フィルターを取付けてください。 ゴミを捨てて、アウターフィルター・フィルターのお手入れをしてください。
不快な臭いがする。	フィルターの乾燥は十分ですか？	陰干しで十分に乾燥してください。
ゴミが排気口から飛び出す。	アウターフィルター・フィルターは正しく取付けられていますか？	確実に取付けてください。

保護装置について

- 次のような場合、モーターの過熱を防ぐため内蔵の保護装置が働き、モーターの運転が自動的に停止します。
 - フィルターが目づまりしていたり、ゴミがいっぱいの状態で運転を続けたとき(砂ゴミ・誤って吸い込んだ湿ったゴミ・多量の粉体など、ゴミの種類によってはダストケースがいっぱいになる前)に保護装置が働きます。
 - すき間ノズルでの長時間の使用 ● 床用吸込口や排気口をふさいだ状態での長時間の使用
 - 夏季など室温が35℃を超えるとき ● 吸気路、床用吸込口にゴミがつまったまま運転し続けたとき
- 運転が自動的に停止したら、必ず電源スイッチを押して電源を「切」の状態にし、電源プラグをコンセントから抜いて、涼しい場所に置いてください。ゴミがいっぱいになっている場合は、ダストケースのゴミを捨て、各フィルターのお手入れをしてください。吸気路、床用吸込口につまっているゴミも取り除いてください。約1時間後、保護装置が自動的に解除され再びご使用になれます。

アフターサービス

1.保証書

- 裏表紙に添付しています。
- 保証書は「お買い上げ日と販売店名」の記入をお確かめのうえ、販売店からお受け取りください。
- 保証書をよくお読みになり大切に保管してください。

2.保証期間

お買い上げ日から1年間です。なお、保証期間中でも有料修理になることがありますので保証書をよくお読みください。

3.修理を依頼される時

- 取扱説明書の内容をお確かめいただき、なお異常があるときには電源プラグを抜いてからお買い上げの販売店または「お客様サービス係」に修理をご相談ください。
- **保証期間中の修理**
保証書の規定により無料修理します。製品に保証書を添えてお買い上げの販売店または「お客様サービス係」までお申し出ください。
 - **保証期間がすぎている修理**
修理により使用できる製品は、お客様のご要望により有料で修理させていただきます。お買い上げの販売店または「お客様サービス係」にご相談ください。

4.補修用性能部品の最低保有期間

- このサイクロンスティック型クリーナーの補修用性能部品の保有期間は製造打ち切り後6年です。
- 性能部品とはその製品の機能を維持するために必要な部品です。

5.アフターサービスについてご不明の場合

お買い上げの販売店またにお問い合わせください。

〈修理料金のしくみ〉

修理料金は、技術料・部品代などで構成されています。

技術料	故障した製品の修理および部品交換などの作業にかかる料金です。
部品代	修理に使用した部品代金です。

〈修理部品について〉

修理部品は、部品共有化のため、一部仕様や外観色などを変更する場合があります。

お客様サービス係

☎(フリーダイヤル) 0120-337-455
FAX (0256) 93-1077
お電話承り時間:平日(月曜~金曜)午前9時~午後5時
〒959-0292 新潟県燕市吉田西太田2084-2

お客様ご自身の修理は大変危険です。分解したり手を加えたりしないでください。

仕 様

電 源	AC100V 50-60Hz	製品質量(約)	2.1kg
消費電力	450W	電源コード	4.5m
吸込仕容量	1.00W	付 属 品	本体…1、ダストケース…1、 床用吸込口…1、ハンドル…1、パイプ…1、 すき間ノズル…1、すき間ノズルホルダー…1
集塵容量	0.9L		
製品寸法(約)	幅:230×奥行:225×高さ:1050mm		

この製品は、日本国内用に設計・販売しています。電源電圧や周波数の異なる国では使用できません。海外での修理や部品販売などのアフターサービスも対象外となります。

愛情点検 	★長年ご使用のクリーナーの点検を！	
	ご使用の際このようなことはありませんか。	●電源スイッチを入れても、ときどき運転しないときがある。●電源コードが傷ついていたたり、電源コードを動かすと運転が止まることある。●運転中、異常な音がする。●本体が変形していたり、異常に熱い。●こげくさい臭いがする。●その他の異常、故障がある。
ご使用中	故障や事故防止のため、使用を中止し、コンセントから電源プラグを抜いて、必ず販売店にご連絡ください。点検・修理に要する費用などは販売店にご相談ください。	